

授業科目 身体障害作業療法学Ⅱ

【担当教員名】 濱口豊太、大山峰生、貝淵正人、能登真一		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【一般目標：G I O】 作業療法の対象となる身体障害の治療理論及び治療・指導・援助の手技・手段を学ぶ。					
【行動目標：S B O】 1. 身体障害作業療法の治療理論を説明できる。 2. 心身機能および身体構造に関する基本的障害に対して治療理論を適用できる。 3. 身体障害に関して国際障害分類（I C F）が適用できる。 4. 代表的疾患に対して作業療法を適用できる。					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	心身機能・身体構造の障害に対する治療理論とその手技	1	講義、濱口		
2	脳血管障害の上肢機能回復：脳出血、くも膜下出血、脳梗塞	2	講義、濱口		
3	脳血管障害の上肢機能代償：脳出血、くも膜下出血、脳梗塞	3	講義、濱口		
4	脳血管障害の生活機能と利き手交換：脳出血、くも膜下出血、脳梗塞	4	講義、濱口		
5	神経変性疾患の身体機能（運動失調）：パーキンソン病、脊髄小脳変性症	4	講義、濱口		
6	神経変性疾患の生活機能：筋萎縮性側索硬化症、シャイ・ドレーガー症候群、ハンチント	4	講義、濱口		
7	非外傷性脊髄損傷の機能回復・代償：多発性硬化症、脊髄炎、脊髄血管障害	4	講義、能登		
8	呼吸器疾患・循環器疾患の機能回復・代償	4	講義、能登		
9	ハイリスク・体力消耗状態の機能回復・代償	4	講義、能登		
10	脳血管障害の臨床	4	講義、貝淵		
11	脊髄損傷の臨床	4	講義、貝淵		
12	末梢神経障害の臨床	4	講義、大山		
13	手の外科の臨床（1）	4	講義、大山		
14	手の外科の臨床（2）	4	講義、大山		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書		作業治療学Ⅰ 身体障害	日本作業療法士協会	協同医書出版	1999、3500円
参考書		①図解：作業療法技術ガイド、石川章、古川宏編、	文光堂、	最新版、7000円	
		②作業—その治療的応用、日本作業療法士協会、	協同医書出版社、	1985、8500円	
その他の資料					
【評価方法】 出席点：10% レポート：30% 期末試験：60%		【履修上の留意点】			